

高知のボランティアを考える

# ボランティアへの提言

医療法人山本会理事長 山本浩志氏  
救急病院「南国中央病院」  
老人保健施設「夢の里」  
訪問看護ステーション「南国」  
在宅介護支援センター「まほろば」  
ボランティア「命のペンダント」



山本 浩志氏

昨年の阪神大震災以来ボランティアに対する関心が高まりました。またボランティアに参加する人も多くなってきました。そこで南国中央病院長・山本浩志氏にまた違った角度からボランティアへの考え方を伺いました。

## ボランティアの意味とその精神

最近ボランティアという言葉がよく耳にしますが、ボランティアの意味は何か、ボランティアの精神は何か、ボランティアの意義は何か、ボランティアの歴史は何か、ボランティアの現状は何か、ボランティアの将来は何か、ボランティアの課題は何か、ボランティアの役割は何か、ボランティアの責任は何か、ボランティアの権利は何か、ボランティアの義務は何か、ボランティアの自由は何か、ボランティアの平等は何か、ボランティアの正義は何か、ボランティアの誠実さは何かなどを問うことが、ボランティアの意義を深く理解することにつながります。

## 自己犠牲と自己鍛錬の場と心

新聞などを見ても、初めにボランティアに参加した人々が、感動で「楽しかった」「自分の喜びである」「心が豊かになった」といふようにボランティアを肯定的にとらえていますが、これはどう思われますか。確かに多くの人はボランティアは楽しかったと肯定的に答えています。しかし、どういった感想は、間違いないかと問うてみると、

# 「ボランティアは自己犠牲であり人間形成のための修行としたい」

「先日、阪神大震災救援のためのあるチャリティに出席したときのことです。義援金を寄せてくれる人たちの列に、小学校に寄せるかあがらないかという子供が一人、きれいに折りたたんだ千円札を一枚もつて並んでいました。その子供が募金箱にお金を入れる番になりました。しばらく箱を見て、思い切ったようにお金を離れた瞬間、私と目が合いました。突然そをき出したのです。『神戸のお友達のことを考えて悲しくなりました。』と、いろいろな質問のようですが、少年は顔を振るのです。『じゃあ、どうしたの』と聞くと、『これで、なんとかが買えなくなっちゃったんです。その品物の内容はよくわかりませんが、その子に持って帰る宝物のようなものなのですよ。』と、大切に小道具をため、きこくそはそれを買おうと思っていたのですが、列のなかまざれぬで、みんな一緒に金を入れたけど、欲しいものが買えなくなりました。悲しくなりました。』と、泣きながら話します。

「人間形成の場」といふことは、初めにボランティアに参加した人々が、感動で「楽しかった」「自分の喜びである」「心が豊かになった」といふようにボランティアを肯定的にとらえていますが、これはどう思われますか。確かに多くの人はボランティアは楽しかったと肯定的に答えています。しかし、どういった感想は、間違いないかと問うてみると、

「人間形成の場」といふことは、初めにボランティアに参加した人々が、感動で「楽しかった」「自分の喜びである」「心が豊かになった」といふようにボランティアを肯定的にとらえていますが、これはどう思われますか。確かに多くの人はボランティアは楽しかったと肯定的に答えています。しかし、どういった感想は、間違いないかと問うてみると、

「人間形成の場」といふことは、初めにボランティアに参加した人々が、感動で「楽しかった」「自分の喜びである」「心が豊かになった」といふようにボランティアを肯定的にとらえていますが、これはどう思われますか。確かに多くの人はボランティアは楽しかったと肯定的に答えています。しかし、どういった感想は、間違いないかと問うてみると、

## 時代に即したボランティアの変貌

ボランティアはどのように変わってきたのか。先生のおっしゃる通り、ボランティアの意義は、時代とともに変わってきた。かつては、慈善活動としてのボランティアが多かったが、現在は、社会貢献活動としてのボランティアが増えている。また、ボランティアの形態も、単発のボランティアから、継続的なボランティアへと変わってきている。さらに、ボランティアの参加者も、年齢層が広がってきている。これらは、ボランティアの意義と精神を深く理解することにつながります。

## これからのボランティアのあり方と人間観・福祉観

ボランティアも時代に即して変わってきている。ボランティアのあり方と人間観・福祉観について、山本浩志氏は、ボランティアは自己犠牲であり人間形成のための修行としたいと述べている。ボランティアは、自己犠牲と自己鍛錬の場であり、人間形成のための修行としたい。ボランティアは、自己犠牲と自己鍛錬の場であり、人間形成のための修行としたい。

「人間形成の場」といふことは、初めにボランティアに参加した人々が、感動で「楽しかった」「自分の喜びである」「心が豊かになった」といふようにボランティアを肯定的にとらえていますが、これはどう思われますか。確かに多くの人はボランティアは楽しかったと肯定的に答えています。しかし、どういった感想は、間違いないかと問うてみると、

「人間形成の場」といふことは、初めにボランティアに参加した人々が、感動で「楽しかった」「自分の喜びである」「心が豊かになった」といふようにボランティアを肯定的にとらえていますが、これはどう思われますか。確かに多くの人はボランティアは楽しかったと肯定的に答えています。しかし、どういった感想は、間違いないかと問うてみると、



インタビュー  
森田 真由美さん  
(RKC高知放送局リポーター)